

しいの実

鈴鹿市立鈴西小学校

学校教育目標 「夢と笑顔と緑がいっぱいの学校」

交通安全教室

6月3日に交通教育指導員の方に交通安全教室を実施していただきました。対象は3年と6年です。

まず、3年生は体育館で座学です。内容は、安全な自転車の乗り方で「ヘルメットを正しく装着して、左側を一直線で走行すること。」を教えていただき、急停止の難しさを実験してもらいました。時速40kmで停止距離は22m、何と体育館の端から端まで必要になるのですね。これが時速60kmでは、42mなので体育館半周になります。飛び出しがいかにか危険か、実感することができましたね。

6年生は、PTAのご協力も受けながら、自転車の実技指導をしていただきました。中学校へは自転車通学となります。これから約1年をかけて通学に向けて、今回学んだことを思い出しながら自転車の乗り方が上達するよう練習してくださいね。



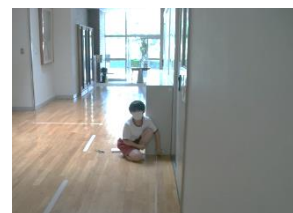
体験を大切に

3年生の子どもたちが校長室前の廊下で、なにやらゴソゴソと活動しています。

何をしているのかな、と覗いてみますと、巻き尺を持って廊下の長さを測っているところでした。算数の勉強では、この実際に測ってみる・計ってみる・量ってみることが大切になります。これから算数を勉強していく中で、 $1\text{cm}=10\text{mm}$ とか $1\text{m}=100\text{cm}$ 、

$1\text{km}=1000\text{m}$ という長さの感覚が必要になります。それらがあつたうえで、今度は面積や容積の量感が理解できるのです。量感がないと、いつまでたっても $1\text{m}=10\text{cm}$ とか $1\text{km}=100\text{m}$ などという間違いをしていますが、 $1\text{m}=100\text{cm}$ が理解できないのに $1\text{m}^3=1000000\text{cm}^3$ はピンときませんよね。

予想をして測定をして、ということは何度も繰り返すことで、感覚も身に付けることができます。これからも、いろいろな長さを実際に測って、その量感を身に付けて欲しいと思います。



■ 研究発表会

6月10日に本校において鈴鹿市教育研究会研究委託校発表会を行いました。市内の全ての小中学校は、それぞれの学校の課題に応じて、研究テーマを決めて、校内研修として研修に取り組んでいます。鈴鹿市においては、市教育研究会が毎年小学校2校、中学校1校の計3校に2年間の研究委託をし、その研究成果を発表するようにしています。

本校は、「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく児童の育成を目指して」という研究主題で令和2年度から研修を進めてきました。学習指導要領の改訂により、「主体的・対話的で深い学びの実現」が求められていますが、児童数の減少により単学級化するため、多様な他者との繋がりの中で対話し学びを深めることが難しくなることが予想されました。

そこで、鈴西小の伝統である異学年集団である縦割り班活動に着目し、教科に取り入れることで、多様な他者との触れ合いのなかで、学習を進めることができるのではないかと考えました。縦割り班での学習という学習形態と研究主題の実現ということから「生活科・総合的な学習の時間」での探究的学習(サーチ学習)を中心に据えました。他には縦割り班での遊び時間(れいせいっこタイム)、縦割り班での朝の学習(まなびっこタイム)も設定し、学習と遊びの両面での活動を充実させることで、豊かな縦割り班での活動に繋がりたいと考えました。1～3年生と4～6年生という異年齢集団による学習というのは、まだ、例が少なく、コロナ渦ということもあり、県外他校の先進事例に学ぶことも難しい、手探りの状態で進めている研究です。

感染予防のため、研究発表会には、市内各小中学校2名までという人数制限をしましたが、多くの教員や教育委員会関係者等の参加をいただきました。低学年のまなびっこタイムと高学年のサーチ学習の様子を公開し、その後は体育館で全体会と分科会を行い、本校の取組の説明と参加者からの質疑を実施しました。今後は、いただいた意見を元に研究の充実に取り組んでいきたいと考えています。

地域の方には、昨年度の「植木」についての学習、今年度は「お茶」についての学習でお世話になっています。おかげさまで鈴西小ならではの学習が実現できています。

最後になりましたが、保護者の方には、当日までも校時の変更などでご協力いただきありがとうございました。また、PTA本部役員の方には会場運営でもお力添えをいただきましたこと、感謝申し上げます。

